大分工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	倫理
科目基礎情報					
科目番号	30G203		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	一般科目		対象学年	2	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	(教科書) 松島隆裕 編, 『哲学・倫理学概論』, 学術図書出版社.				
担当教員	堀 栄造				
到達目標					
(1) 先哲の思想に学びながら, 物事を根本的に見つめる眼を養う。(定期試験)					
(2) 自らの人生について考え, 自らの生き方を築いていこうとする姿勢を身に付ける。(定期試験)					
ルーブリック					
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目1		先哲の思想に学び, 物事を根本的に見つめる眼を十分に養うことができた.	先哲の思想に学び, 物事を根本的に見つめる眼を養うことができた.	先哲の思想に学び, 物事を根本的に見つめる眼を養うことができなかった.	
評価項目2		自らの生き方を築いていこうとする姿勢を十分に身に付けることができた.	自らの生き方を築いていこうとする姿勢を身に付けることができた.	自らの生き方を築いていこうとする姿勢を身に付けることができなかった.	
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達度目標 (A1)					
教育方法等					
概要	古代から現代へ至る西洋思想および東洋思想の基礎を学び, 物事を深く考える力を養い, 学んだ知識が自らの人生観や世界観の形成の糧となるように授業を展開する. (科目情報) 前期1 コマ, 後期1 コマ 授業時間 46.5 時間 関連科目 哲学特論 I・II (専攻科), 哲学概説, 技術者倫理 (専攻科)				
授業の進め方・方法	達成目標の (1), (2) について4 回の定期試験により評価する. 評価が60 点以上を合格とする. 再試験は, 総合評価が60 点に満たない者に対して実施する.				
注意点	(履修上の注意) しっかり復習すること. (自学上の注意) 授業内容をそのつど復習すること.				
評価					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	哲学・思想とは何か	哲学・思想とは何かについて理解できる.	
		2週	自然哲学者たち	自然哲学について理解できる.	
		3週	ソフィスト	ソフィストについて理解できる.	
		4週	ソクラテス	ソクラテスの思想について理解できる.	
		5週	プラトン	プラトンの思想について理解できる.	
		6週	アリストテレス	アリストテレスの思想について理解できる.	
		7週	キリスト教	キリスト教について理解できる.	
		8週	キリスト教	キリスト教について理解できる.	
	2ndQ	9週	前期中間試験		
		10週	前期中間試験の解答と解説 イスラム教	イスラム教について理解できる.	
		11週	仏教	仏教について理解できる.	
		12週	儒教	儒教について理解できる.	
		13週	道教	道教について理解できる.	
		14週	近代的なものとは	近代的なものについて理解できる.	
		15週	前期期末試験		
		16週	前期期末試験の解答と解説		
後期	3rdQ	1週	デカルト	デカルトの思想について理解できる.	
		2週	ベーコン	ベーコンの思想について理解できる.	
		3週	ホブズ	ホブズの思想について理解できる.	
		4週	ロック	ロックの思想について理解できる.	
		5週	ルソー	ルソーの思想について理解できる.	
		6週	カント	カントの思想について理解できる.	
		7週	カント	カントの思想について理解できる.	
		8週	後期中間試験		
	4thQ	9週	後期中間試験の解答と解説 実存主義とは	実存主義とは何かについて理解できる.	
		10週	キルケゴール	キルケゴールの思想について理解できる.	
		11週	ニーチェ	ニーチェの思想について理解できる.	
		12週	ハイデガー	ハイデガーの思想について理解できる.	
		13週	サルトル	サルトルの思想について理解できる.	
		14週	ヤスパース	ヤスパースの思想について理解できる.	
		15週	後期期末試験		

		16週	後期期末試験の解答と解説			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	社会	地理歴史的分野	民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について考察できる。	3	
			公民的分野	人間の生涯における青年期の意義と自己形成の課題を理解し、これまでの哲学者や先人の考え方を手掛かりにして、自己の生き方および他者と共に生きていくことの重要性について考察できる。	3	
分野横断的能力	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	法令やルールを遵守した行動をとれる。	3	
				他者のおかれている状況に配慮した行動がとれる。	3	
評価割合						
			試験	合計		
総合評価割合			100	100		
基礎的能力			100	100		
専門的能力			0	0		
分野横断的能力			0	0		